

健全な財政運営を

平成23年第1回定例会は、3月1日から3月17日までの17日間で行われ、提案された議案22件については、原案のとおり可決・承認されました。

平成23年度
一般会計
当初予算

70億8,600万円

前年比 + 4億1,300万円

全員賛成で可決!



開会を宣言する藤石議長

基金を 取り崩さずに

◆一般会計
平成23年度の一般会計当初予算は、歳入歳出総額、70億8600万円で開催されました。

この予算には、前年度になかった「子ども手当」を含んでいるため、前年度当初予算と比較すると4億1300万円の大幅な増となりました。歳入において、町税の個人住民税は、個人消費の伸び悩みなどから3・3%の減とされていますが、法人税は9・8%、固定資産税は2・2%とそれぞれ増額となっています。町全体としては0・4%、962万円の増収と見込んでいます。

国家予算の2割を占める地方交付税は、政府の「財政運営戦略」において「地方の安定的な財政運営に必要な一般財源額を確保する」という

その他、資源循環型の堆肥作りの関連事業や、プレミアム商品券発行補助金、各福祉計画の策定や学校の施設整備事業予算などが盛り込まれています。

また、21年度から取り組んでいた宇美町・志免町との共同による電算関係の業務システム再構築事業は、23年度から全稼働できるようになりました。

今後とも、安全で安心な住みよいまちづくりを目指し、なお一層気持ちを引き締めて、健全な財政運営に努めているか厳しくチェックしていききたいと思います。
(全員賛成で可決)

国民健康保険を 健全に維持

◆国民健康保険特別会計
当初予算総額は、28億8152万円で、前年比3億3289万円、率にして10・4%の減となりました。

観点から、7・2%の増となっております。

歳入全体の財源不足に取崩しにより補てんせざるを得ないわけですが、23年度は前年度に引き続き、基金を取り崩さずに予算が編成されています。

平成23年度各会計当初予算

会計区分	H23年度予算額	H22年度予算額	比較(%)	
一般会計	70億8,600万円	66億7,300万円	6.2	
国民健康保険特別会計	28億8,152万円	32億1,441万円	△10.4	
後期高齢者医療特別会計	2億3,250万円	2億1,172万円	9.8	
公共下水道事業特別会計	10億5,665万円	9億5,517万円	10.6	
農業集落排水事業特別会計	9,513万円	8,574万円	11.0	
水道事業 会計	収益的支出	5億6,761万円	5億7,608万円	△ 1.5
	資本的支出	2億8,298万円	3億1,153万円	△ 9.2

職員給与については、あまり期待できない施策は抑制を図り、行財政改革を推進する予算となっております。

交付金を活用

基礎整備事業(普通建設事業)については、歳出全体の3・9%を占めており、対前年度比では1・4ポイントの減となっております。

国の第2次補正予算に伴う「緊急総合経済対策」を実施するため、平成22年度の補正予算において、継続事業として、地域活性化・きめ細やかな交付金1883万円を活用した、公共施設地上デジタル放送整備、防犯灯設置工事および小中学校教室整備事業が行われます。また、地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金1428万円を活用した第3小学校図書室空調整備および町立図書館の施設整備事業が行われます。

国民健康保険は、少子化や、後期高齢者医療制度への移行の影響と、経済の低迷が長期化し、リストラによる失業者の国保への流入が増加しています。

また、他の保険制度に加入しない低所得者や、75歳以下の前期高齢者を多く抱えるという構造的な問題を抱えています。須恵町国民健康保険の財政安定化を図り、町民皆保険を堅持し、将来にわたり持続可能なものとしていかなければなりません。
(全員賛成で可決)

料金改定による 増収を見込む

◆水道事業会計
収益的収支予算の収入額は、5億7769万円で、前年比0・9%の増となっております。
1年間をとおして料金改定の増収が見込まれるためです。



エコ堆肥誕生「すえっ肥」

支出額は、5億6761万円で、前年比1・5%の減となっております。水道水源保全基金負担金の減によるものです。23年度は、1009万円程度の利益剰余金が見込まれます。

資本的収支予算の収入額は、1億100万円で前年比31・3%の減、石綿管改良工事に伴う企業債および国庫補助金の

減によるものです。支出額は、2億8298万円で、前年比9・2%の減、石綿管改良工事の減によるものです。不足する額1億8198万円は、損益勘定留保資金で補てんします。
(全員賛成で可決)

◆その他会計
(全員賛成で可決)